

めんどくさいけど、いとおしい。
いろいろあるけど、一緒にいたい。



ぐるりのこと。

原作・脚本・編集・監督 橋口亮輔 出演 木村多江 リリー・フランキー

倍賞美津子・寺島進 安藤玉恵 八嶋智人 寺田農・柄本明

木村祐一 斎藤洋介 温水洋一 峯村リエ 山中崇 加瀬亮 光石研 田辺誠一 横山めぐみ 片岡礼子 新井浩文

主題歌：「Peruna」Akeboshi (EPICレコードジャパン)

撮影：上野彰吾 照明：矢部一男 録音：小川武 美術：磯見俊祐 衣装デザイン：小川久美子 ヘアメイク：豊川京子 キャスティング：城戸史朗 スチール：黒田光一 音楽プロデューサー：北原京子 音楽：Akeboshi プロデューサー：渡辺栄二
企画：山上徹二郎 製作：大和田廣樹 定井勇二 久松猛朗 宮下昌幸 安永義郎 制作：シグロ 配給：ビターズ・エンド 宣伝：ミラクルヴォイス 支援：文化庁 特別協賛：サカタのタネ

140分/35mm/カラー/ドルビーデジタル/2008年 製作：シグロ/ビターズ・エンド/衛星劇場/アミューズソフトエンタテインメント/博報堂DYメディアパートナーズ ©2008「ぐるりのこと。」プロデューサーズ www.gururinokoto.jp

何があっても離れない、一組の夫婦の10年の物語。ずっと心にとどまり続ける、ささやかだけど大きな愛の物語。



10年、20年先も心に残る いとおしさあふれる名作が誕生しました。



「ぐるりのこと。」
——自分の身の周りのこと。
または、自分を取りまく様々な環境のこと。

何があっても別れない夫婦の、
10年におよぶ希望と再生の物語。
これは、いまを生きる私たちの10年の物語。

何事もきちんとしたい妻・翔子と、ひょうひょうと生きる法廷画家の夫・カナオ。どこにでもいる夫婦のふたりにおとずれるさまざまな困難……初めての子供の死、妻のうつ。それでもふたりは一つずつ一緒に乗り越え生きていく——。90年代初頭から9.11テロに至るまでの10年のあいだ、実際に起きた社会的な事件を背景に、どんなことがあっても決して離れない一組の夫婦の時の流れを、丁寧に、心にしみいるように紡ぐ物語。この夫婦の“ぐるり(自分の身の周り)。自分をとりまく様々な環境”を通して、彼ら夫婦の10年、そしていまを生きる私たちの10年が描かれます。人と人とのつながりから生まれる“ささやかだけど大きな幸せと希望”を映し出し、何十年先も心に残る珠玉の名作が誕生しました。

木村多江、リリー・フランキー映画初主演！ カンヌが絶賛した才能・橋口亮輔監督、6年ぶりの最新作

悲しみから心を病み、やがて力強く再生する妻・翔子を演じるのは木村多江(『大奥』)。翔子をやさしく受けとめる夫・カナオを演じるのはリリー・フランキー(『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』)。それぞれ映画初主演となるふたりのリアルな演技は観る者すべての共感を呼ぶでしょう。監督は、前作『ハッシュ!』(02)がカンヌ映画祭ほか数々の映画賞受賞と52カ国を超える世界公開で話題となった橋口亮輔。自身がうつになった経験を反映させ、自ら導き出した「希望は人と人との間にある」という答えのもと、ささやかな日常にある希望の光を丁寧な演出で浮き上がらせました。



90年代に起きたさまざまな犯罪・事件。 社会を反映させた物語を彩る個性派キャスト。

カナオが法廷で目撃するのは、90年代から今世紀初頭にかけて起きた実際の事件とその犯罪者たち。本作は夫婦の再生を描きつつ、連続幼女誘拐殺人事件や地下鉄サリン事件など、個人の希望の裏側に存在する社会の負の側面にも目を向けています。加瀬亮、新井浩文、片岡礼子らが登場する法廷シーンも、この作品の大きな見どころのひとつ。そして、倍賞美津子、柄本明、寺田農といったベテランに加え、寺島進、安藤玉恵、八嶋智人ら個性派俳優たちが脇を固めているのも見逃せません。



法廷画家とは？

TVのニュースや新聞で普段目にする「法廷画」。撮影が禁止されている法廷で被告人の様子をスケッチしたもののだが、これは各TV局・新聞社専属の「法廷画家」によるもの。TVのオンエアや記事の掲載に間に合わせるため、短時間のうちに仕上げねばならず、わずか15分間で2枚のスケッチを仕上げることもあるとか。

出演:木村多江 リリー・フランキー / 倍賞美津子・寺島進 安藤玉恵 八嶋智人 寺田農・柄本明
木村祐一 斎藤洋介 温水洋一 峯村リエ 山中崇 加瀬亮 光石研 田辺誠一 横山めぐみ 片岡礼子 新井浩文
原作・脚本・編集・監督:橋口亮輔 撮影:上野彰吾 照明:矢部一男 録音:小川武 美術:磯見俊裕 衣装デザイン:小川久美子 ヘア・メイク:豊川京子 キャスティング:城戸史朗
スタイル:黒田光一 音楽プロデューサー:北原京子 音楽:Akeboshi 主題歌:「Peruna」Akeboshi (EPICレコードジャパン) プロデューサー:渡辺栄二 企画・製作:山上徹二郎
制作:シグロ 配給:ピタース・エンド 宣伝:ミラクルヴォイス 支援:文化庁 特別協賛:サカタのタネ 140分/35ミリ/カラー/ドルビーデジタル/2008年
製作:シグロ/ピタース・エンド/衛星劇場/アミューズソフトエンタテインメント/博報堂DYメディアパートナーズ ©2008「ぐるりのこと。」プロデューサーズ

★公式ブログにて新着情報発信! <http://blog.excite.co.jp/gururinokoto/>

www.gururinokoto.jp



携帯サイトはこちら!

大ヒット
につき
続映決定!

この映画は、きっとあなたの宝物になる。

8/2(土)よりロードショー!

当日料金(税込):一般 ¥1,800/学生 ¥1,500/小・中・シニア ¥1,000

8/2(土)~15(金)

恵比寿ガーデンシネマ

恵比寿ガーデンプレイス内 恵比寿三館となり
03-5420-6161 www.kodokawa-gardensinema.jp
(定員制・入替制)

16:05

19:00

8/2(土)~

新宿武蔵野館

新宿駅中央東口 三軒宮 武蔵野ビル3F
03-3354-5670 www.musashino-tokyo.jp/cinema/
(各回入替・整理券制)

上映時間は直接劇場にお問い合わせ下さい。

上映時間は変更になる場合があります。各劇場へお問い合わせ下さい。